

札幌リハビリテーション専門学校

学校関係者評価報告書

(令和5年)

学校法人西野学園

札幌リハビリテーション専門学校

令和5年10月
学校法人西野学園
札幌リハビリテーション専門学校
校長 堀野 智宏

学校関係者評価について（報告）

「職業実践専門課程」の認定を受けている本校では、平成24年度から教職員による「自己評価」を、さらに平成26年度から「自己評価」結果を踏まえた「学校関係者評価」を実施しています。

「職業実践専門課程」としての充実を図るため「学校関係者評価」の実施にあたっては、関係機関や本校の卒業生の方々から構成される学校関係者評価委員会を組織し、委員会を開催し、本校の「自己評価」結果をもとに、様々な観点から、多くの貴重なご意見やご要望をいただいております。

本校といたしましては、学校関係者評価委員会で評価して頂いたご意見やご要望に対して、速やかに改善策を検討し、広く社会のニーズに適した学校運営や教育課程の編成を組織的かつ継続的に取り組んでまいりますとともに、その概要について本学園のホームページ上に公開しております。今後ともより良い学校運営、教育活動を目指し、学校関係者の方々との連携・協力をはかり、教職員一同尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「令和4年度学校関係者評価」につきまして、次のとおり報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員 名簿

氏名	所属
杉原 俊一	医療法人秀友会 札幌秀友会病院 公益社団法人 北海道理学療法士会 常任理事
吉岡 英章	医療法人社団憲仁会 牧田病院 公益社団法人 北海道作業療法士会 副会長
佐藤 喜亮	社会医療法人社団三草会 クラーク病院
高松 尚徳	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院

2 学校関係者評価委員会開催日時

第1回 令和5年6月29日（火） 15:00～17:00

第2回 令和5年10月5日（木） 15:00～17:00

（第3回は令和6年2月27日（火）を予定）

3 今年度の学校関係者評価実施の流れ

令和5年 4月 令和4年度の教育活動等に関する「自己評価」を実施

“ 6月 令和5年度第1回学校関係者評価委員会を開催し、「自己評価」に基づく「学校関係者評価」を実施

“ 9月 令和5年度第2回学校関係者評価委員会を開催し、「学校関係者評価」の内容を確定

“ 10月 「令和4年度学校関係者評価」をホームページに公開

令和4年度 自己点検評価項目		令和2年度 自己評価 (平均)	令和3年度 自己評価 (平均)	令和4年度 自己評価 (平均)	学校関係者評価委員会による評価
I 教育理念・目標	1 理念・目標・育成人材像は定められているか。	5.0	5.0	5.0	学科毎にキャッチコピーが作成され、医療・福祉のスペシャリストの養成校として西野学園の人材育成の方向性を社会に発信していることは評価出来る。 第2シーズンのN'sシート委員会も成功裏に終わり、一定の成果を収めることができたと思われる。今後その成果を踏まえ、教育活動へ生かしていくことを期待する。令和5年度は出願者数が減少しており、入学者数増加を図れるよう多方面への情報公開を行って頂きたい。
	2 社会のニーズ等を踏まえた学園の将来構想を抱いているか。	4.6	4.5	5.0	
	3 理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	4.6	4.0	5.0	
II 学校運営	4 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	4.8	5.0	5.0	新たな組織体制により目標管理は、パーパス（ミッション）の共有が重要であるが、各学科方針にも反映されている事は評価出来る。Rocket.Chatによる新しい情報システムの本格的導入が令和5年度から開始されており、具体的な成果を次年度に報告して頂きたい。引き続き、情報共有により業務の効率化を図り、学生指導等に捻出された時間の有効活用を期待する。
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	4.8	5.0	5.0	
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか。	4.5	4.0	5.0	
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	4.4	4.5	5.0	
III 教育活動	8 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4.8	5.0	5.0	国試塾等の取り組みより国試合格率90%以上をキープしていることは評価できるが、国試対策だけではなく、日々の授業の質の評価も明確化できると良い。コロナ対応が緩和され、徐々に学校行事も再開されており、適切な学校行事運営がなされている。教員向けの研修はコロナ5類以降増えており、勤続年数が短い職員に対する、職員の研修にも力を入れて頂きたい。
	9 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.6	5.0	5.0	
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.2	4.0	4.0	
	11 授業規律を確保し、統一した指導体制のもとで教育活動が行われているか。	4.5	4.5	5.0	
	12 関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の編成や点検等が行われているか。	4.4	4.0	4.0	
	13 成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	4.8	5.0	5.0	
IV 学修成果	14 授業評価の実施等、評価体制があるか。	4.8	5.0	5.0	就職率は100%を達成しており、就職サポートセンターが十分に機能していると考えられるが、今後、都市部では求人数も減っていくことが予測されるため、就職サポートセンターの活動により、幅広い分野への求人を目指したい。1,2年生の退学率が高く、教員間の情報連携を密にして、退学者低減に向けた対策を講じて頂きたいと思う。どのように卒業生の活動調査の公表を行っていくかが課題である。
	15 職員の能力開発のための研修が行われているか。	4.4	4.0	4.0	
	16 クラス担任と教科担任との連携を密にし、学生の実態に合った指導法の確立に努めているか。	4.6	5.0	5.0	
	17 就職率の向上は図られているか。	4.8	5.0	5.0	
V 学生支援	18 退学率の低減は図られているか。	3.8	4.0	4.0	経済的な面以外での学生サポートセンターの活用場が広がり、退学率の減少につながると良い。コロナ体制から徐々に平常に戻つつある中で、学生に混乱が起きないよう支援していく必要がある。卒業生支援としては、全道各地で同窓会の支援体制が整備されているため、引き続き同窓会を安定的に運営できるよう更なる支援体制の整備を進めて頂きたい。課題を抱える入学生が増加に伴い、休退の一要因になっており、学生支援体制の整備を期待する。
	19 卒業生・在校生の社会的な活動を把握し、評価しているか。	4.2	4.0	4.0	
	20 学生相談に関する体制は活用されているか。	4.6	4.0	4.0	
	21 学生の経済的支援体制は整備されているか。	4.4	4.0	4.0	
	22 保護者と適切に連携しているか。	5.0	4.0	4.0	
	23 卒業生への支援体制は整備されているか。	4.2	4.0	4.0	
VI 教育環境	24 ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観・勤労観の育成に努めているか。	4.6	4.5	5.0	火災以外にも集中豪雨による浸水に伴う全館停電等、様々な自然災害を想定した危機管理体制の備えが必要と考える。
	25 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4.4	4.0	4.0	
	26 学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	4.4	4.0	4.0	
VII 学生募集	27 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4.0	4.0	4.0	入学・出願者数は減少傾向にある為、出前授業など対策は考えているようだが、オープンキャンパスや出前授業の機会を増やせるよう努力して頂きたい。 少子化に歯止めがかからない状況で学生募集は厳しさを増している。療士士の量・質の低下は地域医療に影響を及ぼすため、関連するステークホルダーとの連携等さらに工夫が必要となっている。
	28 図書室利用の活性化が図られているか。	4.2	4.5	5.0	
	29 防災に対する体制は整備されているか。	4.2	4.0	4.0	
VIII 財務	30 学生の募集は適正に行われているか。	4.3	4.0	4.0	学園の財務基盤は安定しているが、学校としても貢献できるよう入学者数増加を図る必要がある。SNSを駆使した高校生への情報発信は現代の若者文化に合っているため、今後も創意工夫をし閲覧数が増えるよう情報発信を続けて頂きたい。
	31 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4.4	4.0	4.0	
IX 法令等の遵守	32 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	4.2	4.0	4.0	法令順守に対する意識は浸透しており、適切な運営が行われている。PT学科の人員も確保された為、適切な業務運営ができるよう進めて頂きたい。
	33 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.4	4.0	4.0	
X 社会貢献等	34 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.8	5.0	5.0	コロナ禍ではボランティア活動に限界があり、ボランティア活動の経験がない学生が多いと思うので、徐々に規制緩和されていく中で学生へのボランティア活動を広めて頂きたい。
	35 個人情報の保護のための対策がとられているか。	4.4	5.0	5.0	
X 社会貢献等	36 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4.0	4.0	4.0	コロナ禍ではボランティア活動に限界があり、ボランティア活動の経験がない学生が多いと思うので、徐々に規制緩和されていく中で学生へのボランティア活動を広めて頂きたい。
	37 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.2	4.5	5.0	

評価基準 適切-5 ほぼ適切-4 やや適切-3 不適切-2 わからない-1